

● 基盤整備事業

今年度は、伊上の尾崎地区のほ場整備に着手、本郷地区においては、営農組織の育成について取り組んで参るとともに、間もなく供用開始されます。「河原農業研修所」に大豆・米を利用し、より付加価値をつけて販売することを目指した味噌加工施設の整備を行います。

農家の生活様式の多様化により、営農飲雑用水の確保について、県営事業として進めています。阿惣夕ムは、今年二月には堤体部分のコンクリート打設も終了し、平成十二年度は、管理用道路、浄化施設等の整備が実施される予定であり、平成十四年度の完成に向け順調に進捗しています。

また、町内には、数多くの地滑り地帯を有しており、危険ため池

4月7日に開所される河原農業研修所



も多く、早期の改修が望まれています。新年度は向津具上の田代ため池の改修を行います。

林業

林業の振興につきましては、近年、地球環境の保護が世界的な課題となっており、森林のもつ機能が再認識されています。このような中で、町といたしましては町有林の整備を今後も推進し、森林資源の保護・育成と松食い虫の被害対策、及び被害林の早期復旧、また農林水産物への鳥獣の被害が激増していますので、被害防止のため鳥獣の駆除に努めます。

水産業

水産業を取り巻く環境は、漁獲量の減少、魚価の低迷、後継者不足など誠に厳しいものがあります。

特に沿岸漁業を主体とする本町にあつては、漁業資源も年々減少している状況であります。このような状況を踏まえ、水産振興対策として、アワビ・ヒラメ・ガザミの放流、クルマエビの中間育成等「作り育てる漁業」を推進します。

漁業生産基盤の整備につきましては、第九次漁港整備計画の最終年度であります。大浦漁港改修工事の整備を推進していきます。

商工業

商工業であります。今後商工会育成強化に努めて参りますが、大型店の進出、ディスカウント店の攻勢による地元消費、及び個人消費の伸び悩み等、商工業を取り巻く環境はかつてない厳しいものだと思います。従いまして、庁用物品等の購入につきましては、出来るだけ町内での調達を進め、地元業者に側面的な支援をしていく考えです。景気が低迷している中、現在、商工会が中心となつて商工業者の基盤強化に努められていますが、今後も一層の企業努力をお願いいたします。



作り育てる漁業を推進します
(車えび稚魚の放流作業の様子)

シルバー人材センターでは、技術習得のため様々な講習会が行われています。(松の剪定講習会)



● シルバー人材センター

高齢者雇用対策の重要な柱の一つである、シルバー人材センターは、今後の本町の本格的な高齢社会に対応するため、町といたしましても出来る限りの支援を行っていきたくと考えていますが、町民の皆さんも大いに利用していただきたいと願っています。

● 観光

商工観光の振興につきましては、緊急地域雇用特別基金事業による観光案内所を特産品販売センターに開設し、観光地の宣伝と観光客の誘致を積極的に進める考えです。